

仏教学専攻

日本仏教史Ⅱ

担当教員	加藤 善朗	単位	2単位	開講期間	秋学期
成績評価の基準	平常点 30%、授業中に行う小テスト 30%、レポート 40% レポートはノートや先行文献の引き写しではなく、講義内容を自身の観点からとらえなおしたもの(400字5枚程度)。				
教科書	末木文美士『日本仏教史-思想史としてのアプローチ-』新潮文庫必要に応じて教員補助プリントを配布する。				
参考文献	講義中に指示する。				
授業方法	講義				

授業の概要・ねらい・到達目標・授業計画・注意事項など

日本仏教史の変遷とその思想を概観する。特に浄土教の流れについて着目し、秋学期は、中世から現代までを取り上げる。また、栄西、法然、親鸞、一遍、道元、日蓮や、清沢満之、暁烏敏、近角常観、宮澤賢治なども人物単位で取り上げる。

[授業計画]

1.	オリエンテーション日本仏教にとっての中世とは 日本仏教の特質・念仏・戒律・禅・密教・天台本覚思想
2.	中世にとっての日本仏教とは何か 中世という時代の特質・顕密体勢論・呪術と宗教の未分化
3.	禅の流れ01——栄西 禅の独立とその思想的根拠
4.	禅の流れ02——栄西 『興禅護国論』
5.	浄土の流れ01——法然 『選択本願念仏集』
6.	浄土の流れ02——法然 『法然上人行状絵図』
7.	浄土の流れ03——親鸞 『教行信証』
8.	浄土の流れ04——一遍 『一遍聖絵』
9.	禅の流れ03——道元 『正法眼蔵』『正法眼蔵随聞記』
10.	法華経の行者——日蓮 『立正安国論』
11.	日本仏教にとっての現代とは・檀家制度の終焉・「葬式仏教」「ペット供養」
12.	現代にとっての日本仏教とは何か・環境問題・震災と仏教
13.	近代と仏教01 清沢満之、暁烏敏、近角常観
14.	近代と仏教02 宮澤賢治
15.	秋学期まとめ・仏教へのまなざし・日本仏教再説

[備考・注意事項等]

講義前、とりくむ単元の『日本仏教史－思想史としてのアプローチ－』当該部分に目を通しておくこと。

備考:この科目は実務経験のある教員等による授業科目である